

# 海外植林事業

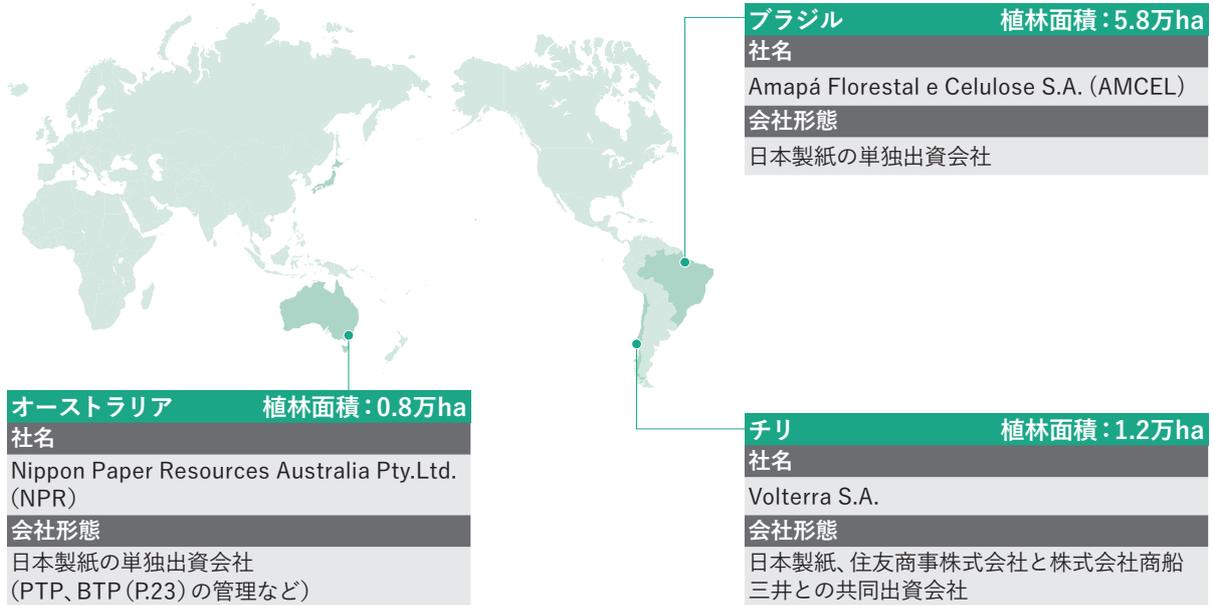
## Tree Farm構想

「Tree Farm構想」とは、畑で作物を育てて収穫するのと同様に、木を自ら育てて収穫・活用し、それを繰り返すことで持続可能な原材料調達を行う、日本製紙の海外植林プロジェクトの考え方です。

→ Tree Farm構想：  
<https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/afforest/>

### 管理している海外植林の概要（2020年末時点）

海外植林面積合計7.8万ha



- 持続可能な森林経営のためには、植林地周辺の地域社会と良好な関係を築き、ともに発展していくことが重要であると考え、先住民を含む地域住民、地域の文化・伝統と自然環境・生態系に配慮した森林経営を実施しています。また、雇用の創出や教育活動への援助などを通じて地域経済にも貢献しています（→P.84）。
- 草地、農場・牧場の跡地や植林木の伐採跡地を植林地として利用し、成長の早いユーカリを中心に、各地の気候と製紙原料に適した樹種を選んで植栽しています。
- ユーカリの一斉植林と域内の生物多様性の維持を両立するために、生態系への影響が大きい河川沿いの原生植生を水辺林として残すなど、ランドスケープを考慮して適切に管理しています。
- 各地の植林事業会社において、生物多様性に配慮した植林事業を行っており、保有する社有地に生物多様性保護のための保護区を設定し、動植物生息調査を行うなどの取り組みを実施しています（→P.50）。
- 各植林事業会社では、所有する植林地周辺のコミュニティなどステークホルダーへの訪問や会議を定期的に行い、事業活動に対する意見・要望を確認。これらのコミュニケーションを通じて得られた要望をもとに、展開している社会貢献活動プログラムなどの評価・見直しを行うための手順を設定しています。
- 管理する海外植林事業全てで森林認証を取得、維持しています。



水辺林を残した植林  
 (下図) 青色部が水辺林

海外植林事業での森林認証取得状況

事業会社別海外植林プロジェクト	認証制度名(ライセンス番号)	取得年
PTP(オーストラリア)	Responsible Wood	2006年
BTP(オーストラリア)	Responsible Wood	2006年
ヴォルテラ社(チリ)	FSC®(FSC®C120260) CERTFORCHILE	2014年 2007年
アムセル社(ブラジル)	FSC®(FSC®C023383) CERFLOR	2008年 2014年

地域との共生のための活動事例(→P.84)

	地域との共生のための活動事例	
	地域社会への貢献	先住民への配慮
ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植林地周辺コミュニティ住民を対象にした職業訓練</li> <li>● 地域に暮らす女性を対象とした職業訓練への支援(メイク、アクセサリー作り)</li> <li>● 低所得層の子供たちを対象にしたスポーツ教室(軍警察環境部隊に協賛・資材等提供)</li> <li>● 軍警察とのパートナーシップ(軍警察が行う、主に低所得層の子供たちを対象とした教育、スポーツ活動への協賛)</li> <li>● 野生生物の保護、環境教育活動への資金援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 所有地内で確認された、先住民族の遺跡があるエリアは恒久的な保護区域に指定</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の植林関連会社で構成される消防団の一員として、地域の森林火災時の消火活動に協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 植林地内で発見された、先住民遺跡の保護</li> </ul>